



Victor

IP オーディオユニット

型名 **PN-AP200**

取扱説明書
(Web アプリ編)

お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をお読みのうえ、正しくお使いください。

B5A-4426-00

はじめに

もくじ

はじめに

こんなことができます	3
------------------	---

準備

動作環境	5
Web アプリにアクセスする	5
ログインする	6
ログイン	6
セッションタイムアウト	6
ログアウト	6

設定する

メニュー選択	7
共通操作/共通表示	8
設定ファイル転送	9
システム設定	10
回線	10
ネットワーク	11
シリアルバススルー	12
運用補助	13
ユニット一覧	14
制御入出力切替設定	14
入出力チャンネル設定	15
回線状態	16
回線設定表示	16
制御出力確認エリア	18
ネットワーク一括設定	19
ネットワーク個別設定	21
システムマネージャー接続時	21
子機接続時	22
日付時刻	23
システムマネージャー接続時	23
子機接続時	24
ログ	25
メンテナンス	26
メンテナンスの共通表示	26
パケットロス率	27
ファームウェアアップデート	28
ファームウェアバンク切り替え	29
ユニット再起動	30
PING 送信	31
パスワード変更	32

こんなことができます

本ソフトは、IP オーディオユニット PN-AP200(以降の説明では「PN-AP200」と記載します)のシステムを運用するための設定を、パソコン(以降の説明では「PC」と記載します)の Web ブラウザー上で行います。

■ Web アプリでできること

ネットワークに接続されたユニットへアクセスし、設定データを転送したり、動作状態を確認したりできます。

【データ管理】

- IP オーディオユニット設定ソフトウェア PN-ZS200AP(以降の説明では「設定ソフト」と記載します)で設定したデータをシステムマネージャーに転送し、システム全体に反映させることができます。

【運用確認】

- システムに登録されたユニットの一覧と設定が確認できます。
- システムで運用されている回線設定内容と回線状態を確認できます。

【システム管理】

- ユニットのネットワーク設定を個別に変更できます。
- ユニットのネットワーク設定を一括で変更できます。(システムマネージャーにログインしているとき)
- PN-AP150 モードへの切替ができます。
- システムで動作する全てのユニット時刻の設定を行なうことができます。
- システム動作のログを閲覧・ダウンロードすることができます。
- システムで運用しているユニットのファームウェアバージョンの確認、アップデートをすることができます。
- Web アプリにログインするためのパスワード設定を変更することができます。



- 取扱説明書(設置・接続編)などの資料のダウンロード URL
<https://www32.jvckenwood.com/jvc/system/pro-dl/>

- Web アプリ ログイン先 URL
<https://IP アドレス>

例)

システムマネージャー(ユニットID:00)で IP アドレスが初期設定の場合
<https://192.168.1.100>

※PC から Web アプリでアクセスするには、ユニットと同じネットワークに接続する必要があります。

この取扱説明書の見かた

■本文中の記号の見かた

ご注意 : 操作上の注意が書かれています。

メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

P. : 参考ページや参照項目を示しています。

[] : 本ソフト上の操作キーを表します。(例) [OK]

■本書の記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では、™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に使われている画面は、実際のものとは異なる場合があります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- 最新の取扱説明書やファームウェアは、ホームページにてご確認ください。
弊社ホームページ: <https://jkpi.jvckenwood.com/>
- Windows、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

動作環境

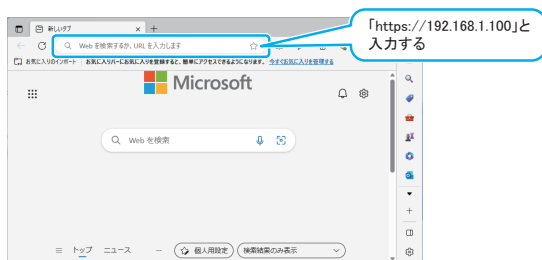
■ 使用可能な PC の仕様

推奨ブラウザ : Microsoft Edge
 ディスプレイ解像度 : 1366×768 ピクセル以上

Web アプリにアクセスする

PC でブラウザを起動して、システムマネージャーにアクセスします。

ブラウザを起動して、アドレスバーに「https://192.168.1.100」と入力してください。



ご注意：

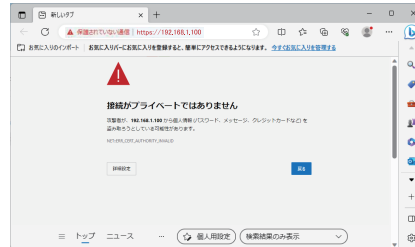
- IP アドレスの初期値は「192.168.1.100」です。
- IP アドレスを初期値から変更した場合は、変更した IP アドレスを入力してください。
- ネットワーク一括設定またはネットワーク個別設定で、ポート番号を 443 以外に変更した場合は、変更後のポート番号も指定してください。

例) 65535 に変更した場合

https://192.168.1.100:65535

■ 接続時のご注意

ブラウザから PN-AP200 にアクセスしようとしたときに、以下のような警告が表示される場合があります。本システムの Web アプリにアクセスするため、警告が表示されても、問題ありません。



「保護されていない通信」画面の[詳細設定]をクリックして詳細を表示し、「192.168.1.100 に進む(安全ではありません)」のリンクをクリックして、Web アプリにアクセスします。

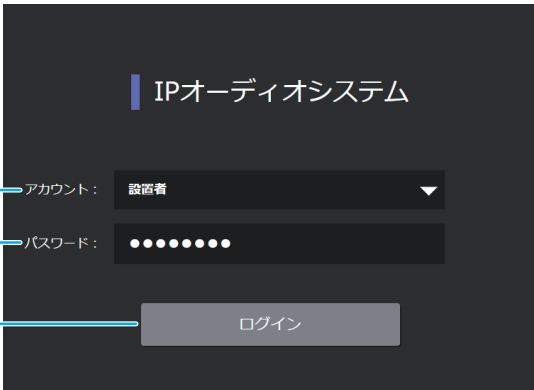


ご注意：

Web アプリ接続中は、ブラウザの[戻る][進む][更新]ボタンを使用しないでください。

ログインする

ログイン



① アカウント

ログインするアカウントを「設置者」または「運用者」から選択します。

メモ： _____

- アカウント「運用者」は、「運用者」のパスワード変更しかできない以外は、「設置者」と同じ設定や操作ができます。設置する人と運用する人が異なる場合など、ご使用の状況に応じてアカウントを使い分けてください。

② パスワード

パスワードを入力します。

パスワードの初期値は「jvc」です。

パスワードが初期設定のままの場合、パスワード変更の警告が表示されます。

後ほど、必ずパスワード変更画面でパスワードを変更してください。

メモ： _____

- 出荷時のパスワードは広く公開されているため、変更せずに使用していると大変危険です。容易に推測されないパスワードを設定し、定期的に変更してください。

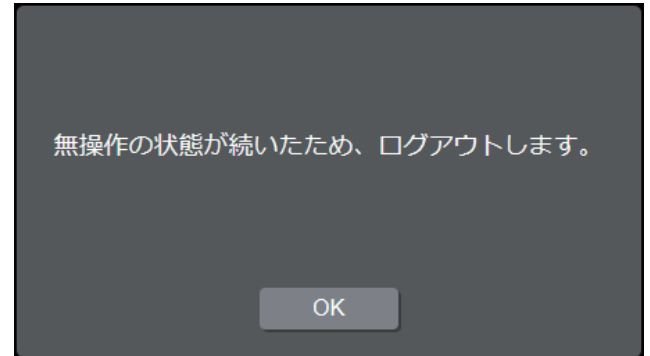
③ ログインボタン

アカウントとパスワードが一致すると、Web アプリのメニュー選択画面に移動します。

ログインに失敗すると、警告が表示されます。

セッションタイムアウト

ログインしてから操作しない状態が 1 時間以上続くと、自動でログアウトします。



[OK]ボタンをクリックすると、ログイン画面に移動します。

ログアウト

ログアウトするときは、画面右上にある[ログアウト]ボタンをクリックしてください。

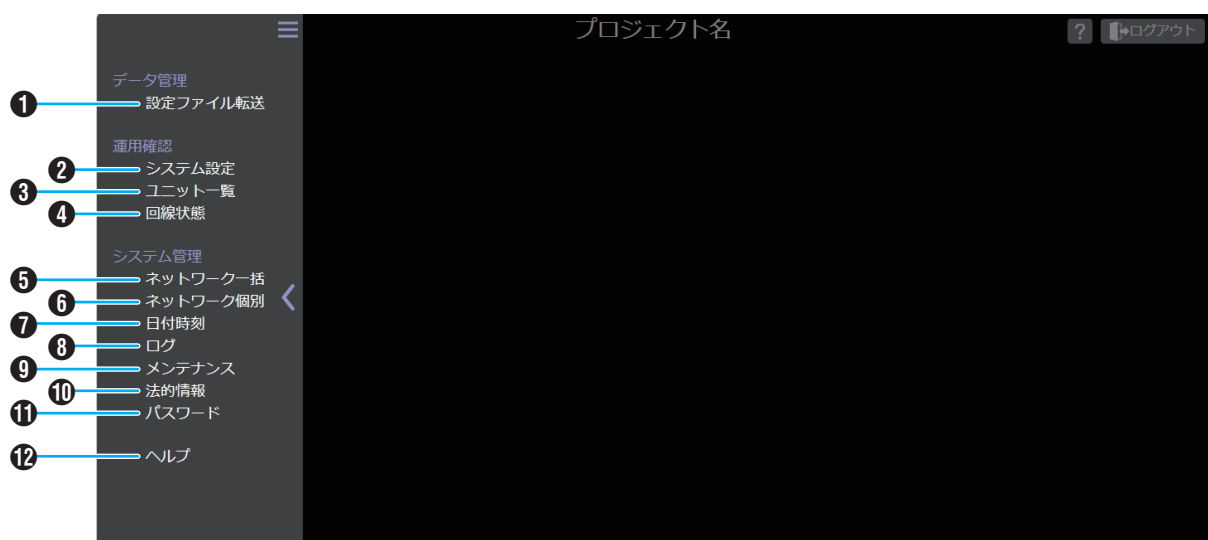


メニュー選択

画面左上の☰または、左端のグレーのバー部分をクリックすると、以下のメニューが表示されます。

メモ：

- システムマネージャーと子機では、表示されるメニューが異なります。
システムマネージャーに接続したときは、以下のメニューが表示されます。
子機に接続したときは、本体管理メニューとして、ネットワーク個別、日付時刻、ログ、メンテナンス、法的情報の項目およびヘルプが表示されます。



① 設定ファイル転送

設定ソフトで設定したデータをシステムマネージャーに転送し、システム全体に反映させることができます。詳細は「設定ファイル転送」(P.9)を参照してください。

② システム設定

システムで運用されているシステム設定の内容を確認することができます。詳細は「システム設定」(P.10)を参照してください。

③ ユニット一覧

システムで運用されているユニット設定の内容を確認することができます。詳細は「ユニット一覧」(P.14)を参照してください。

④ 回線状態

システムで運用されている回線設定の内容と、回線の状態を確認することができます。詳細は「回線状態」(P.16)を参照してください。

⑤ ネットワーク一括

システムに登録されているすべてのユニットのネットワーク設定を一括で変更することができます。詳細は「ネットワーク一括設定」(P.19)を参照してください。

⑥ ネットワーク個別

Web アプリで接続しているユニットのネットワーク設定を変更することができます。詳細は「ネットワーク個別設定」(P.21)を参照してください。

⑦ 日付時刻

システムで動作するすべてのユニット時刻設定をすることができます。詳細は「日付時刻」(P.23)を参照してください。

⑧ ログ

システム動作のログを閲覧、ダウンロードすることができます。詳細は「ログ」(P.25)を参照してください。

⑨ メンテナンス

システムで運用しているユニットのファームウェアのバージョンの確認、アップデートをすることができます。詳細は「メンテナンス」(P.26)を参照してください。

⑩ 法的情報

ソフトウェアに関する重要なお知らせ、ソフトウェア利用許諾書、使用ライブラリ/アプリケーションの情報を表示します。

⑪ パスワード

Web アプリにログインするためのパスワードを変更することができます。詳細は「パスワード変更」(P.32)を参照してください。

⑫ ヘルプ

ヘルプ(取扱説明書(Web アプリ編))のトップページが表示されます。

共通操作/共通表示

Web アプリの共通操作/共通表示の説明です。



① エラーメッセージ表示欄

システム内での異常を検出したときに、エラーメッセージが表示されます。エラーの詳細は「ログ」(P.25)から確認できます。

② プロジェクト名

システムマネージャーが動作しているプロジェクト名が表示されます。

③ 家ボタン

メニュー選択画面に戻ります。

④ ? ボタン

現在開いている画面のヘルプ(取扱説明書(Web アプリ編))が表示されます。

⑤ ログアウトボタン

Web アプリからログアウトします。

⑥ 再起動ボタン

システム全体を再起動します。

⑦ 再起動メッセージ表示欄

再起動を促すメッセージが表示されます。

メモ：――

- 設定を変更しただけでは、システムに変更内容は反映されません。変更内容を反映させるためには、必ずシステムを再起動してください。

設定ファイル転送

設定ソフトで設定したデータをシステムマネージャーに転送し、システム全体に反映させることができます。また、システムマネージャーに保存されている設定データをダウンロードすることができます。



① ファイル選択ボタン

PC に保存している設定ファイルを選択します。[ファイル選択]ボタンをクリックすると、「ファイルを開く」画面が表示されます。

ファイルを選択すると、[ファイル選択]ボタンの横にファイル名が表示されます。

何も選択していない場合は「選択されていません。」と表示されます。

メモ： _____

- ファイル名に使用できる文字や記号は、Windows のファイル名規則に準じます。

② アップロードボタン

選択した設定ファイルをシステムマネージャーにアップロードし、設定データを更新します。

メモ： _____

- アップロードしただけでは、システムに設定は反映されません。設定を反映させるためには、システムを再起動してください。
- アップロードしただけでは、運用中の設定に影響を与えることはありません。

③ ダウンロードボタン

現在運用中の設定データを PC にダウンロードします。

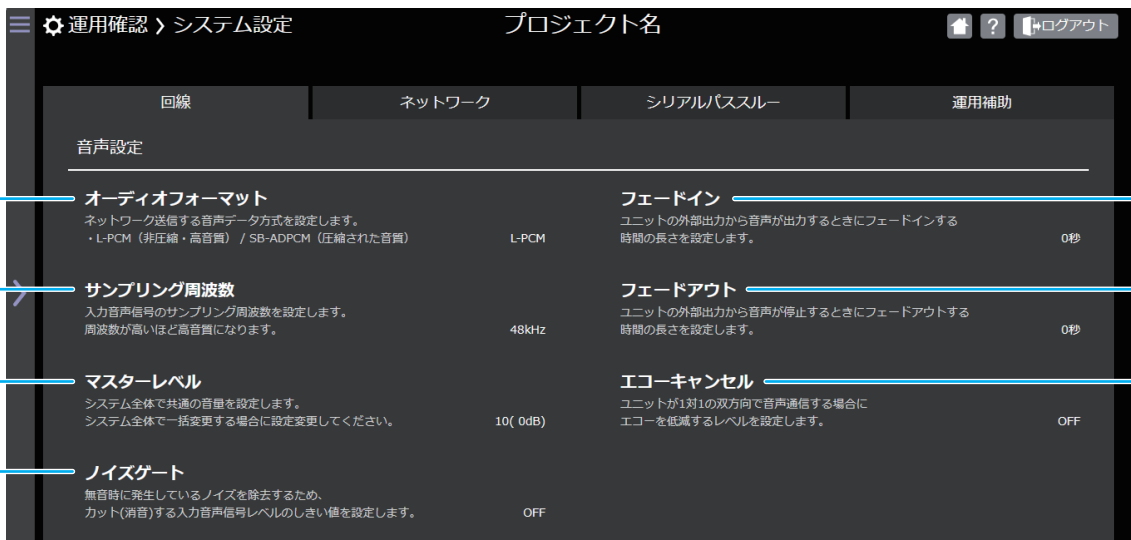
システム設定

設定ソフトで設定した内容が表示されます。

Web アプリでは設定を変更できません。設定を変更する場合、または詳細については取扱説明書(設定ソフト編)の「システム設定」を参照してください。

回線

システムで運用されている回線の設定内容を表示します。



■ 音声設定

- ① **オーディオフォーマット**
回線で伝送される音声データの方式が表示されます。
- ② **サンプリング周波数**
回線で伝送される音声データのサンプリング周波数が表示されます。
- ③ **マスターレベル**
システム全体で共通の音量が表示されます。
- ④ **ノイズゲート**
ノイズを低減するレベルが表示されます。
- ⑤ **フェードイン**
ユニットの外部出力から音声が出力するときに、フェードインする時間の長さが表示されます。
- ⑥ **フェードアウト**
ユニットの外部出力から音声停止するときに、フェードアウトする時間の長さが表示されます。
- ⑦ **エコーキャンセル**
双方向の通信でエコーが発生したときに、エコーを低減するレベルが表示されます。

ネットワーク

システムで運用されているネットワークの設定内容を表示します。



■ ネットワーク設定

- ① **音声通信ポート番号**
IP ネットワーク伝送で音声データを送受信するためのポート番号が表示されます。
- ② **同期用ポート番号**
音声を送受信するタイミングの同期信号を送るポート番号が表示されます。
- ③ **シリアルバススルーポート番号**
シリアル通信信号を送るポート番号が表示されます。
- ④ **MTU**
1 回に送信できる IP パケットの最大データサイズが表示されます。
- ⑤ **QoS(DSCP)**
音声データの packets をネットワーク上で安定的に伝送させるための優先度が表示されます。
- ⑥ **IGMP Querier**
IGMP クエリアの設定が表示されます。
- ⑦ **同期用マルチキャストアドレス**
音声を送受信するタイミングの同期信号を送るマルチキャストアドレスが表示されます。

■ 通信方式

- ⑧ **通信方式**
音声データを IP ネットワークで伝送する通信プロトコルが表示されます。
- ⑨ **音声バッファ (通信方式:UDP)**
通信方式が UDP のときの音声データのバッファリングサイズが表示されます。
通信方式が「UDP」のときに有効になります。
- ⑩ **音声バッファ (通信方式:TCP)**
通信方式が TCP のときの音声データのバッファリングサイズが表示されます。
通信方式が「TCP」のときに有効になります。

シリアルパススルー

シリアルパススルーの設定内容を表示します。



■ シリアルパススルー設定

① シリアルパススルー

シリアルパススルーの設定が表示されます。

② ユニット選択

非常業務放送設備またはマルチリモートマイクロホンを接続するユニットが表示されます。

③ プロトコル

IP ネットワーク伝送する通信プロトコルが表示されます。

④ ボーレート

シリアル(COM)端子のボーレートが表示されます。

⑤ データ長

シリアル(COM)端子のデータ長が表示されます。

⑥ パリティ

シリアル(COM)端子のパリティが表示されます。

⑦ ストップビット

シリアル(COM)端子のストップビットが表示されます。

運用補助

システムを運用するときの補助的な機能の設定内容を表示します。



■ 時刻自動設定

- 時刻自動設定**
NTP による時刻補正の設定が表示されます。
- IP アドレス**
接続する NTP サーバーの IP アドレスが表示されます。
時刻自動設定が「ON」のときに有効になります。
- 同期間隔**
NTP サーバーの時刻とシステムが同期する間隔が表示されます。
時刻自動設定が「ON」のときに有効になります。

■ 再起動時刻設定

- 再起動**
再起動の設定が表示されます。
- 再起動時刻**
再起動を実行する時刻が表示されます。
再起動が「ON」のときに有効になります。

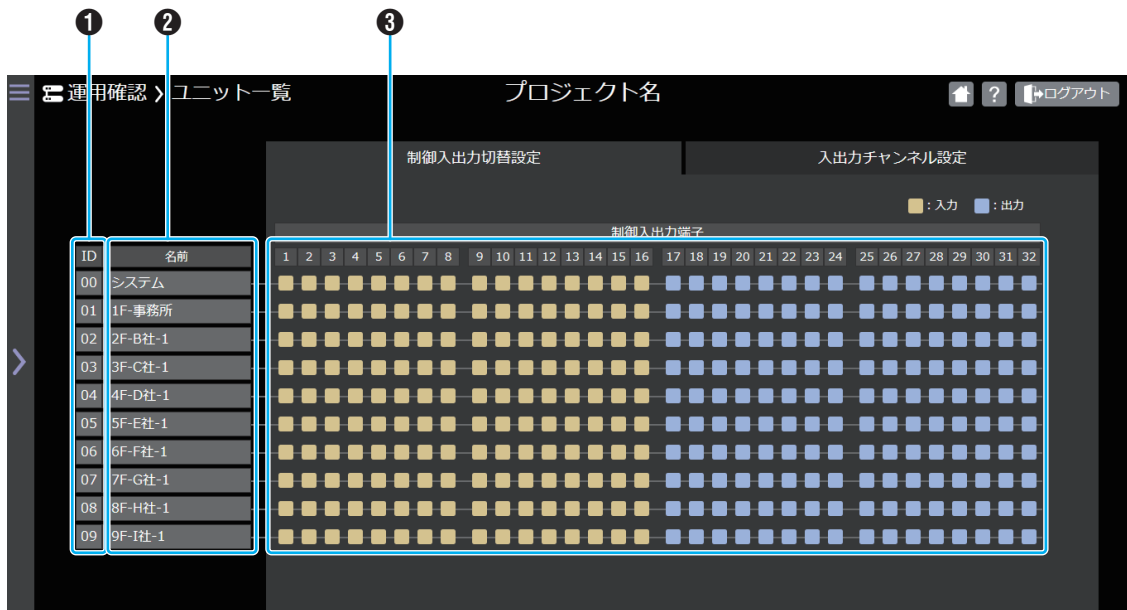
ユニット一覧

設定ソフトで設定した内容が表示されます。

Web アプリでは設定を変更できません。設定を変更する場合、または詳細については取扱説明書(設定ソフト編)の「ユニット登録」を参照してください。

制御入出力切替設定

ユニットの背面にある制御入出力端子の設定内容を表示します。



- ① ID**
ユニットの番号が表示されます。
- ② ユニット名**
ユニットの名前が表示されます。
- ③ 制御入出力**
制御入出力端子の入出力の設定が表示されます。

入出力チャンネル設定

ユニットの音声入出力チャンネルに関する設定内容を表示します。

ID	名前	マルチキャストアドレス		優先順位		ミキシングLv.		音声レベル			
		1ch	2ch	1ch	2ch	1ch	2ch	1ch	2ch	3ch	4ch
00	システム	224.1.0.101	224.1.0.102	1	1	10	10	10	10	10	10
01	1F-事務所	224.1.1.101	224.1.1.102	1	1	10	10	10	10	10	10
02	2F-B社-1	224.1.2.101	224.1.2.102	1	1	10	10	10	10	10	10
03	3F-C社-1	224.1.3.101	224.1.3.102	1	1	10	10	10	10	10	10
04	4F-D社-1	224.1.4.101	224.1.4.102	1	1	10	10	10	10	10	10
05	5F-E社-1	224.1.5.101	224.1.5.102	1	1	10	10	10	10	10	10
06	6F-F社-1	224.1.6.101	224.1.6.102	1	1	10	10	10	10	10	10
07	7F-G社-1	224.1.7.101	224.1.7.102	1	1	10	10	10	10	10	10
08	8F-H社-1	224.1.8.101	224.1.8.102	1	1	10	10	10	10	10	10
09	9F-I社-1	224.1.9.101	224.1.9.102	1	1	10	10	10	10	10	10

■ 入力チャンネル

① マルチキャストアドレス

音声データをマルチキャスト送信するときのマルチキャストアドレスが表示されます。

② 優先順位

同じ出力チャンネルに出力するときの入力チャンネルの優先順位が表示されます。

③ ミキシングLv.

同じ出力チャンネルにミキシングする2つの入力音声の音量レベルが表示されます。

■ 出力チャンネル

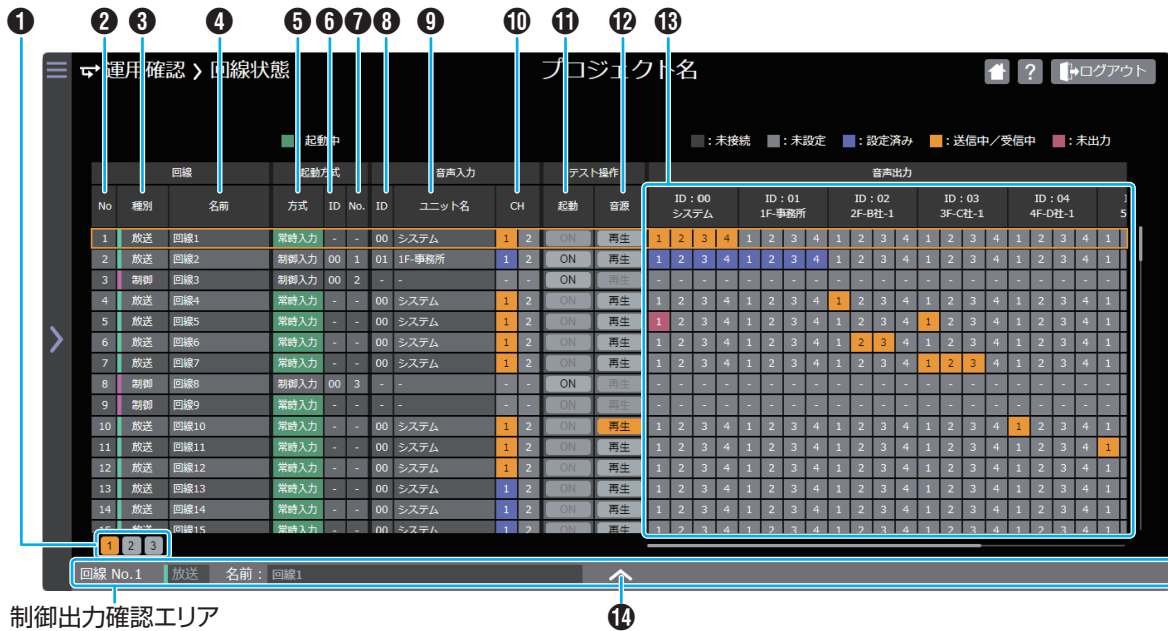
④ 音声レベル

出力チャンネルごとの音声レベルが表示されます。

回線状態

システムで運用されている各回線の設定内容と、回線の起動状態を表示します。
 システムの状態を取得するため、表示に時間がかかる場合があります。
 詳細は取扱説明書(設定ソフト編)の「回線登録」を参照してください。

回線設定表示



■ 回線

- ① ページ切り替えボタン
100回線ごとにページを切り替えることができます。最大10ページまで表示されます。
- ② No.
回線のリスト表示の番号です。
- ③ 種別
回線の使用方法が表示されます。
 - ・回線種別が「放送」のときは、1つの音声入力信号を複数のユニットに送信し、同時に音声出力することができます。
 - ・回線種別が「制御」のときは、制御入出力端子から信号を入力することができます。音声は出力されません。
- ④ 名前
回線に登録した名前が表示されます。

■ 起動方式

- 設定ソフトで登録した内容が表示されます。
- ⑤ 方式
回線を起動する方式が表示されます。
 - ・起動方式が「常時入力」のときは、システム起動と同時に起動します。
 - ・起動方式が「制御入力」のときは、ユニットの接点端子に入力された制御信号で起動します。
 - ・起動方式が「PA-C620」のときは、PA-C620からの制御信号で起動します。
 - ⑥ ID
起動方式のIDが表示されます。
 - ・起動方式が「常時入力」のときは、「-」が表示されます。
 - ・起動方式が「制御入力」のときは、制御信号を受信するユニットIDが表示されます。
 - ・起動方式が「PA-C620」のときは、PA-C620のアドレスが表示されます。
 - ⑦ No.
起動方式のNo.が表示されます。
 - ・起動方式が「常時入力」のときは、「-」が表示されます。
 - ・起動方式が「制御入力」のときは、制御信号を受信するユニットの入力端子が表示されます。
 - ・起動方式が「PA-C620」のときは、PA-C620のブロック選択スイッチが表示されます。

■ 音声入力

- ⑧ ID
音声入力の ID が表示されます。
- ⑨ ユニット名
音声入力のユニット名が表示されます。
- ⑩ CH
音声入力の入力 CH が表示されます。

■ テスト操作

Web アプリからシステムの動作を確認することができます。

⑪ 起動

回線の起動を確認します。

[ON] ボタンをクリックすると、回線を起動することができます。

[ON] ボタンをクリックすると、回線の起動を終了することができます。

- **ON** のときは、該当回線のテスト起動を行っていない状態です。
- **ON** のときは、該当回線のテスト起動を行っている状態です。

メモ： _____

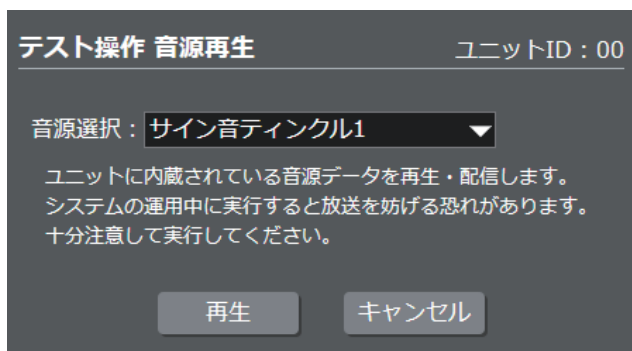
- 入力端子に音声信号が入力されていると、回線起動時に入力されている音声信号が出力端子から出力されます。
- [ON] ボタンの色は、回線が起動しているかどうかを表すものではありません。回線が起動しているかどうかは、起動方式の背景色で判断してください。
- 制御入力端子からの入力信号とテスト操作による起動 ON/OFF は、後優先で動作します。そのため、テスト操作後は、制御入力端子への入力と回線状態が不一致となりますことがあります。

⑫ 音源

ユニットの音源データの再生を確認します。

- **再生** のときは、該当回線を起点としたテスト再生を行っていない状態です。
- **再生** のときは、該当回線を起点としたテスト再生を行っている状態です。

[再生] ボタンをクリックすると、「テスト操作 音源再生」ダイアログが表示されます。



「テスト操作 音源再生」ダイアログの「音源選択」で、再生する音源データを選択します。

音源データ選択後、[再生] ボタンをクリックすると、「テスト操作 音源再生」ダイアログを閉じて、再生を開始します。再生を停止する場合は、回線状態画面で再生している回線の[再生] ボタンをクリックします。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、「テスト操作 音源再生」ダイアログが閉じます。

メモ： _____

- 「テスト操作 音源再生」ダイアログの右上に、音源を再生するユニットのユニット ID が表示されます。

ご注意： _____

- 再生操作をする前に、回線を起動してください。回線を起動していない場合、再生は開始されません。
- テスト再生する回線と同じ入力チャンネルが、すでに起動している別の回線にも設定されている場合、その回線にも再生音が流れます。
- 再生する音源は、後優先で再生されます。

■ 音声出力

⑬ ID

回線に登録した出力ユニットの ID、名前、出力チャンネルが表示されます。

- 1 : システムに登録済みで、未接続のユニットのチャンネル
- 1 : 出力先として設定されていないチャンネル
- 1 : 回線に出力先として登録されているチャンネル
- 1 : 回線が起動され、出力ユニットで音声信号を受信・送信している状態のチャンネル
- 1 : 回線が起動しているが、制限によって音声信号を出力していない状態のチャンネル

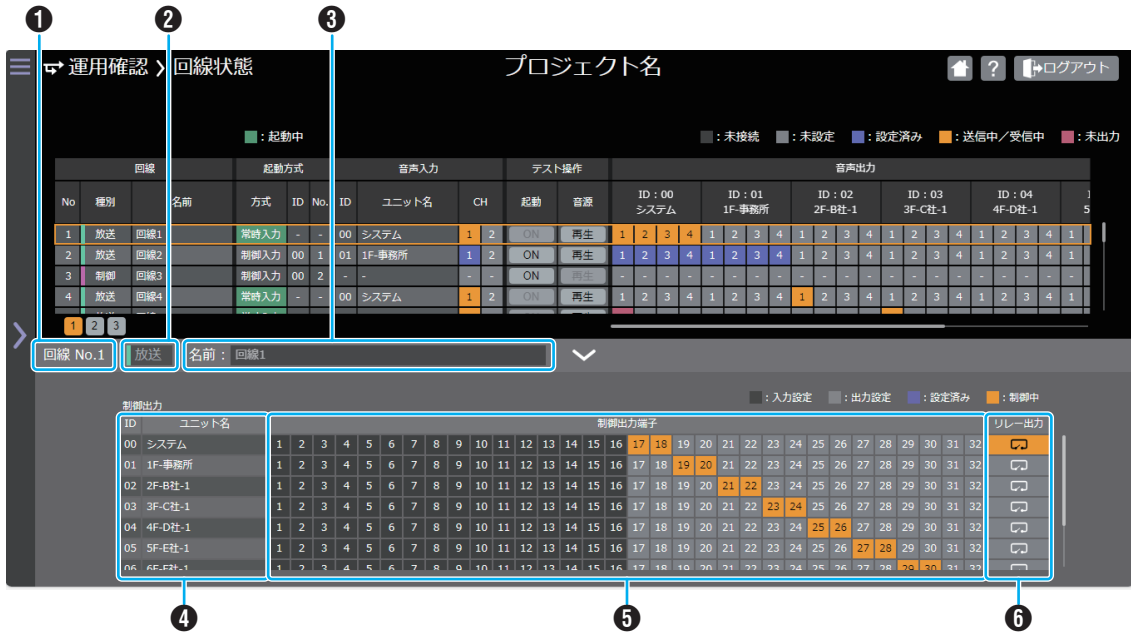
■ 制御出力確認エリア

⑭ / ボタン

をクリックすると、ボタンが に変わり、制御出力確認エリアが上にスライドして大きく表示されます。

をクリックすると、ボタンが に変わり、制御出力確認エリアが下にスライドして小さく表示されます。

制御出力確認エリア



■ 回線の情報

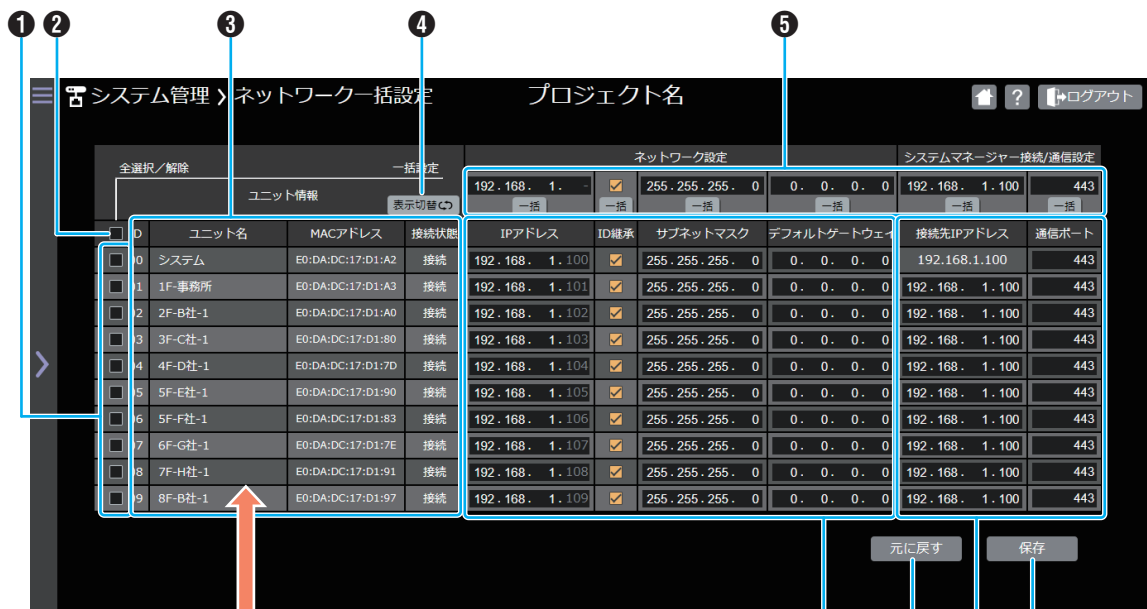
- ① No.
回線のリスト表示の番号です。
- ② 種別
回線の使用方法が表示されます。
 - 回線種別が「放送」のときは、1 つの音声入力信号を複数のユニットに送信し、同時に音声出力することができます。
 - 回線種別が「制御」のときは、制御入出力端子から信号を出力することができます。音声は出力されません。
- ③ 名前
回線に登録した名前が表示されます。

■ 制御出力

- ④ ID・ユニット名
ユニット登録画面で登録したユニット ID とユニット名が表示されます。
- ⑤ 制御出力端子
回線で出力させる制御出力端子の設定状態が表示されます。
 - : 入力設定
 - : 出力設定
 - : 設定済み
 - : 制御中
- ⑥ リレー出力
ユニットのリレー出力の状態が表示されます。
 - ☐ : リレー出力 OFF
 - ☑ : リレー出力 ON

ネットワーク一括設定

システムマネージャーを介して、システムに登録されているユニットのネットワーク設定を一括で変更します。



④をクリックして、③の表示を切り替える



① チェックボックス

一括変更の対象にしたいユニットのチェックボックスにチェックを入れます。

② 全選択/解除

全ユニットのチェックボックスに一括でチェックを入れることができます。

③ ユニット情報

システムマネージャーに登録されているユニットのID、「ユニット名、MAC アドレス、接続状態」または「IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ」を表示します。システムマネージャーに接続していないユニットは、ID、ユニット名、接続状態のみ表示されます。その他の項目は「-」で表示されます。

④ 表示切替ボタン

クリックすると、ユニット情報の「ユニット名、MAC アドレス、接続状態」と「IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ」の表示を切り替えます。

⑤ 設定情報

ネットワーク設定とシステムマネージャー接続/通信設定のそれぞれの設定内容を、チェックボックスにチェックを入れたユニットに対して、一括して変更することができます。変更したい項目の設定値入力欄に設定したい値を入力して、「一括」ボタンをクリックしてください。

設定する

⑥ ネットワーク設定

IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ

各ユニットのネットワークアドレスを設定します。

設定値: 0.0.0.0~255.255.255.255

初期値: 設定されている値

ID 継承

ユニット設定スイッチで設定されているユニット ID を、IP アドレスに使用するかを設定します。

- ID 継承のチェックが ON のときは、ユニット ID を IP アドレスに使用します。
- ID 継承のチェックが OFF のときは、ユニット ID を IP アドレスに使用しません。

メモ: _____

- ID 継承のチェックが ON のときは、IP アドレスの第 4 オクテットは変更できません。

⑦ 元に戻すボタン

ネットワーク設定を最後に保存した内容に戻します。

⑧ システムマネージャー接続/通信設定

接続先 IP アドレス

システムマネージャーの接続先 IP アドレスを設定します。

設定値: 0.0.0.0~255.255.255.255

初期値: 192.168.1.100

通信ポート

システムマネージャーと通信するためのポートを設定します。

設定値: 443, 49152~65535

初期値: システムマネージャーに登録されているポート番号

メモ: _____

- 443 以外の値に設定した場合は、Web アプリにアクセスするときに、ポート番号が必要となります。変更後の値は忘れないようにしてください。

⑨ 保存

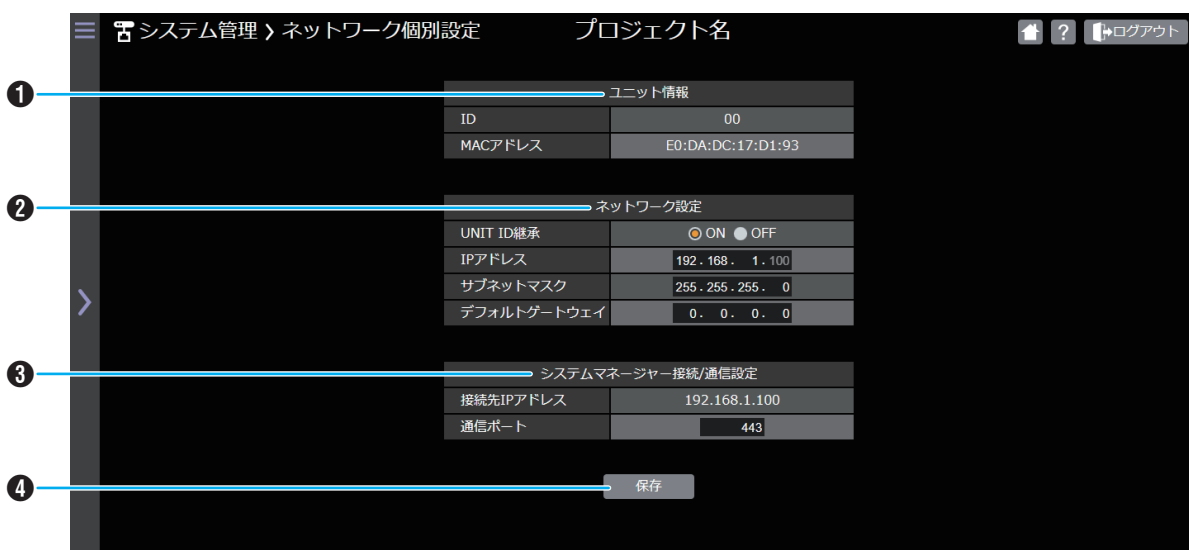
編集したネットワーク設定をシステムマネージャーに転送します。

ネットワーク個別設定

接続したユニットのネットワークを設定します。

システムマネージャーに接続したときと、子機に接続したときで、表示されるメニューが異なります。

システムマネージャー接続時



① ユニット情報

接続したユニットの ID、MAC アドレスを表示します。

② ネットワーク設定

UNIT ID 継承

ユニット本体に設置されているスイッチで UNIT ID が設定されています。その UNIT ID を IP アドレスに反映するかを設定します。

設定値: ON / OFF

初期値: ON

- UNIT ID 継承が ON のときは、UNIT ID を IP アドレスに反映します。
- UNIT ID 継承が OFF のときは、UNIT ID を IP アドレスに反映しません。

メモ: _____

- UNIT ID 継承が ON のときは、IP アドレスの第 4 オクテットは変更できません。

IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ

ユニットのネットワークアドレスを設定します。

設定値: 0.0.0.0~255.255.255.255

初期値: 設定されている値

③ システムマネージャー接続/通信設定

接続先 IP アドレス

システムマネージャーの IP アドレスが表示されます。変更はできません。

通信ポート

システムマネージャーと通信するためのポートを設定します。

設定値: 443、49152~65535

初期値: 443

メモ: _____

- 443 以外の値に設定した場合は、Web アプリにアクセスするときに、ポート番号が必要となります。変更後の値は忘れないようにしてください。

④ 保存ボタン

編集したネットワーク設定をユニットに転送します。

子機接続時



① ユニット情報

接続したユニットの ID、MAC アドレスを表示します。

② ネットワーク設定

UNIT ID 継承

ユニット本体に設置されているスイッチで UNIT ID が設定されています。その UNIT ID を IP アドレスに反映するかを設定します。

設定値: ON / OFF

初期値: ON

- UNIT ID 継承が ON のときは、UNIT ID を IP アドレスに反映します。
- UNIT ID 継承が OFF のときは、UNIT ID を IP アドレスに反映しません。

メモ: _____

- UNIT ID 継承が ON のときは、IP アドレスの第 4 オクテットは変更できません。

IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ

ユニットのネットワークアドレスを設定します。

設定値: 0.0.0.0~255.255.255.255

初期値: 設定されている値

③ システムマネージャー接続/通信設定

機種名

接続するシステムマネージャーの機種名を選択します。

設定値: PN-AP200 / PN-AP150

初期値: PN-AP200

接続先 IP アドレス

システムマネージャーの接続先 IP アドレスを設定します。

設定値: 0.0.0.0~255.255.255.255

初期値: 192.168.1.100

通信ポート

システムマネージャーと通信するためのポートを設定します。

設定値: 443, 49152~65535

初期値: 443

オートネゴシエーション

システムマネージャーのオートネゴシエーションの ON / OFF を設定します。

設定値: ON / OFF(100M Full Duplex)

初期値: ON

- 機種名で「PN-AP200」を選択したときは、オートネゴシエーションが「ON」になり、「OFF(100M Full Duplex)」を選択できません。
- 機種名で「PN-AP150」を選択したときは、オートネゴシエーションの「ON」または「OFF(100M Full Duplex)」を選択できます。

メモ: _____

- 443 以外の値に設定した場合は、Web アプリにアクセスするときに、ポート番号が必要となります。変更後の値は忘れないようにしてください。

④ 保存ボタン

編集したネットワーク設定をユニットに転送します。

日付時刻

接続しているユニットの日時を設定します。

システムマネージャーに接続する子機は、接続時にシステムマネージャーから日時を取得します。

システムマネージャーに接続したときと、子機に接続したときで、表示されるメニューが異なります。

システムマネージャー接続時



① ユニット時刻

接続しているユニットの日時情報を表示します。

② 手動入力

設定したい日時を入力します。[実行]ボタンをクリックすると、入力した日時がユニットに設定されます。

設定値

年 : 2020~2059年

月 : 1~12

日 : 1~31

時間: 00:00~23:59

③ PC時刻の反映

PCの日時情報を表示します。[実行]ボタンをクリックすると、PCの日時情報がユニットに設定されます。

④ NTP設定情報

設定ソフトで設定された時刻自動設定の情報を表示します。システムマネージャーと接続したときに、表示されます。

メモ :

- NTP設定情報は変更できません。設定ソフトのシステム設定画面で設定を変更してください。

子機接続時



① ユニット時刻

接続しているユニットの日時情報を表示します。

② 手動入力

設定したい日時を入力します。[実行]ボタンをクリックすると、入力した日時がユニットに設定されます。

設定値

年 : 2020~2059年

月 : 1~12

日 : 1~31

時間: 00:00~23:59

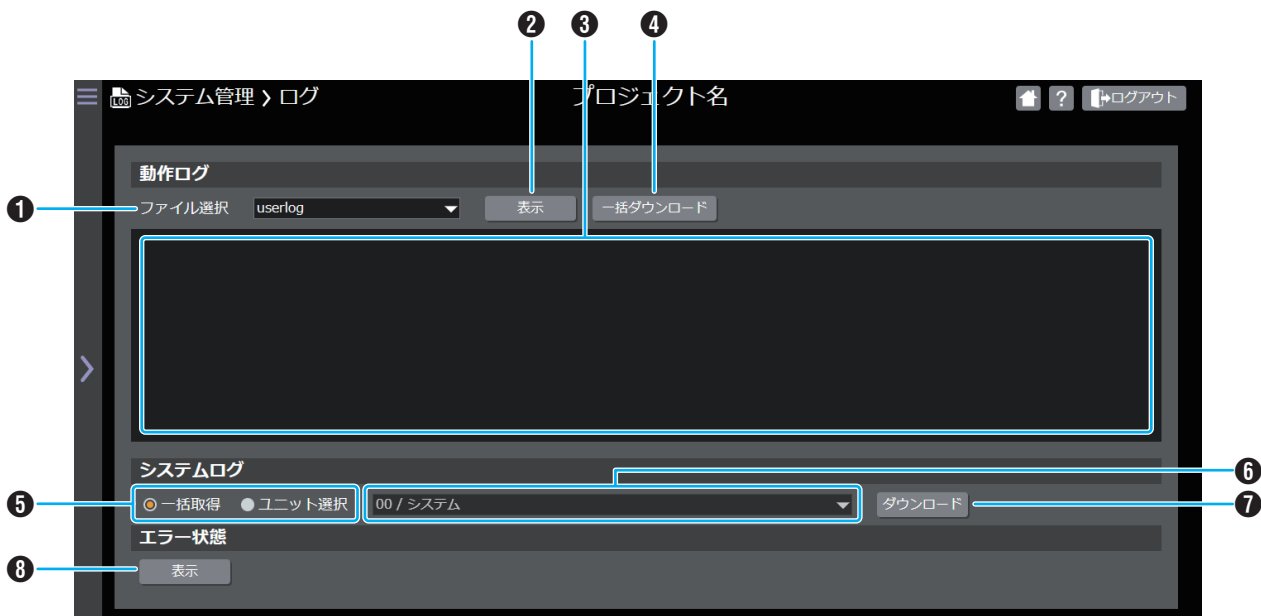
③ PC時刻の反映

PCの日時情報を表示します。[実行]ボタンをクリックすると、PCの日時情報がユニットに設定されます。

④ 同期時刻

システムマネージャーと同期した直近の日時を表示します。子機と接続したときに、表示されます。

ログ



■ 動作ログ

① ファイル選択

接続しているユニットの動作ログのファイルを選択します。

② 表示ボタン

[表示]ボタンをクリックすると、選択したログファイルの内容をログ表示エリアに表示します。

③ ログ表示エリア

選択されたログファイルの内容を表示します。

④ 一括ダウンロードボタン

[一括ダウンロード]ボタンをクリックすると、ログファイルのダウンロードを開始します。

■ システムログ

⑤ 取得対象

ログの取得対象を選択します。

- 「一括取得」を選択した場合は、システムに接続された全ユニットがログの取得対象になります。
- 「ユニット選択」を選択した場合は、ログを取得する対象のユニットを選択します。

メモ： _____

- 子機接続時は、「一括取得」を選択できません。

⑥ ユニット選択欄

取得対象で「ユニット選択」を選択した場合は、ログを取得するユニットを選択します。

メモ： _____

- 取得対象で「一括取得」を選択した場合は、ユニットを選択することはできません。

⑦ ダウンロードボタン

[ダウンロード]ボタンをクリックすると、ログのダウンロードを開始します。

メモ： _____

- 取得対象で「一括取得」を選択した場合は、1 ユニットごとにログを zip ファイルにまとめて圧縮します。

■ エラー状態

⑧ 表示ボタン

現在のエラー情報をダイアログ表示します。

メンテナンス

メンテナンスの共通表示

メンテナンスの共通部分の説明です。



① 機能選択

メンテナンスを行う機能を選択します。
システムマネージャーに接続したときと、子機に接続したときで、選択できる機能が異なります。
システムマネージャーに接続したときは、以下の機能を選択できます。

- パケットロス率
- ファームアップデート
- ファームバンク切り替え
- ユニット再起動
- PING 送信

子機に接続したときは、以下の機能を選択できます。

- パケットロス率
- ファームアップデート
- ファームバンク切り替え
- ユニット再起動

② 全選択/解除

全ユニットのチェックボックスに一括でチェックを入れることができます。

③ チェックボックス

操作したいユニットを選択します。
機能選択後、チェック可能となります。

メモ：

- パケットロス率は、チェックボックスで選択できません。

④ ユニット情報

システムマネージャーに登録しているユニット(システムマネージャーを含む)のID、ユニット名、電源供給方法、ファームウェアのバージョンを表示します。

⑤ メンテナンス機能別表示エリア

機能選択で選択したメンテナンス機能の情報が表示されます。

パケットロス率

各ユニットのパケットロス率の集計結果を確認します。



機能選択: パケットロス率

パケットロス率の集計結果を表示します。

全選択	ID	ユニット名	電源	バージョン	パケットロス率
<input type="checkbox"/>	00	システム	AC	V1-00.000	0.000%
<input checked="" type="checkbox"/>	01	1F-事務所	PoE	V1-00.000	0.000%
<input checked="" type="checkbox"/>	02	2F-B社-1	PoE	V1-00.000	0.000%
<input checked="" type="checkbox"/>	03	3F-C社-1	PoE	V1-00.000	0.000%
<input checked="" type="checkbox"/>	04	4F-D社-1	PoE	V1-00.000	0.000%
<input checked="" type="checkbox"/>	05	5F-E社-1	PoE	V1-00.000	0.000%

① パケットロス率

各ユニットのパケットロス率の集計結果を表示します。
全ユニットの情報を表示します。チェックボックスによる
選択はできません。

ファームウェアアップデート

ユニットのファームウェアを更新します。
 アップデートの対象は、起動していないバンクとなります。
 アップデート完了後、更新したバンクに切り替えて再起動します。

メモ：

- ユニット本体の内蔵メモリーには、ファームウェアと呼ばれるユニットを動作させるために必要なソフトウェアプログラムが書き込まれています。
 ファームウェアは、バンク A とバンク B という 2 つの異なる領域にそれぞれ書き込まれており、ユニット内部ではどちらかのバンクで起動したファームウェアが動作しています。
 ファームウェアアップデートは、バンク A で動作しているときはバンク B に、バンク B で動作しているときはバンク A にファームウェアを書き込みます。
 アップデート後に再起動すると、書き込んだバンクのファームウェアが起動します。



① 選択ボタン

PC に保存しているファームウェアアップデートファイルを選択します。
 [選択] ボタンをクリックすると、「ファイルを開く」画面が表示されます。
 ファイルを選択すると、[選択] ボタンの横にファイル名が表示されます。

② 実行ボタン

ファームウェアアップデートファイルを選択して、[実行] ボタンをクリックすると、チェックボックスにチェックを入れたユニットのファームウェアのアップデートが開始されます。

メモ：

- ファームウェアアップデートファイルを選択していない場合は、[実行] ボタンを操作することができません。
- システムマネージャーのファームウェアをアップデートしたときは、アップデート完了後、Web アプリのログイン画面が表示されます。
- 子機に接続して、子機のファームウェアをアップデートしたときは、アップデート完了後、Web アプリのログイン画面が表示されます。

③ 進捗状況

ファームウェアをアップデートする対象のバンクが表示されます。
 ファームウェアアップデート中は、進捗状況をプログレスバーで表示します。

ファームウェアバンク切り替え

ユニットの起動するファームウェアバンクを切り替えます。
ファームウェアバンクを切り替えると、ユニットは再起動します。

メモ：――

- バンクとは、ファームウェアが書き込まれているユニットの内蔵メモリーにある領域で、バンク A とバンク B という 2 つの異なる領域にそれぞれファームウェアアップデートで更新したファームウェアが書き込まれています。
過去に書き込んだファームウェアを動作させたい場合などに、起動するバンクを切り替えることができます。

システム管理 > メンテナンス

プロジェクト名

機能選択: ファームウェアバンク切り替え [実行]

起動するファームウェアを切り替えます。
切り替えを実行するとユニットは再起動します。

全選択	ID	ユニット名	電源	バージョン	起動中バンク	ファームウェアバンク切り替え
<input type="checkbox"/>	00	システム	AC	V1-00.000	Bank.A	Bank.B : V0-99.001
<input type="checkbox"/>	01	1F-事務所	PoE	V1-00.000	Bank.A	Bank.B : V0-99.001
<input checked="" type="checkbox"/>	02	2F-B社-1	PoE	V1-00.000	Bank.A	Bank.B : V0-99.001
<input type="checkbox"/>	03	3F-C社-1	PoE	V1-00.000	Bank.B	Bank.A : V0-99.001
<input type="checkbox"/>	04	4F-D社-1	PoE	V1-00.000	Bank.B	Bank.A : V0-99.001
<input type="checkbox"/>	05	5F-E社-1	PoE	V1-00.000	Bank.B	Bank.A : V0-99.001

① 実行ボタン

設定されたバンク選択情報をシステムマネージャーに送り、再起動させ、設定したバンクで動作させます。

[実行]ボタンをクリックすると、チェックボックスでチェックを入れたユニットの起動バンクを切り替えます。
バンク切り替え完了後、ユニットは再起動します。

メモ：――

- 全選択/解除は選択できません。
- ユニットを選択していない場合は、[実行]ボタンを操作することはできません。
- システムマネージャーのバンク切り替えを実行したときは、バンク切り替え完了後、Web アプリのログイン画面が表示されます。
- 子機に接続して、子機のバンク切り替えを実行したときは、バンク切り替え完了後、Web アプリのログイン画面が表示されます。

② 起動中バンク

起動しているバンクが表示されます。

③ バンク切り替え先情報

起動していないバンクとファームウェアのバージョンが表示されます。

ユニット再起動

選択したユニットを再起動します。



① 実行ボタン

[実行]ボタンをクリックすると、チェックボックスでチェックを入れたユニットを再起動します。

メモ：――

- ユニットを選択していない場合は、[実行]ボタンを操作することができません。
- システムマネージャーを再起動したときは、再起動後、Webアプリのログイン画面が表示されます。
- 子機に接続して、子機を再起動したときは、再起動後、Webアプリのログイン画面が表示されます。

② 進捗状況

再起動の進捗を表示します。

メモ：――

- システムマネージャーの再起動中、または子機に接続して、その子機を再起動したときは、他の操作をすることができません。

PING 送信

ユニットに PING を送信し、システムに接続されているかを確認します。



① 実行ボタン

[実行]ボタンをクリックすると、チェックボックスでチェックを入れたユニットに対して PING を送信します。

メモ：

- ユニットを選択していない場合は、[実行]ボタンを操作することができません。
- 現在、未接続と判断されているユニットでも、過去にシステムマネージャーと接続した履歴があれば、PING を送信することができます。

② IP アドレス

ユニットの IP アドレスを表示します。

③ 応答結果

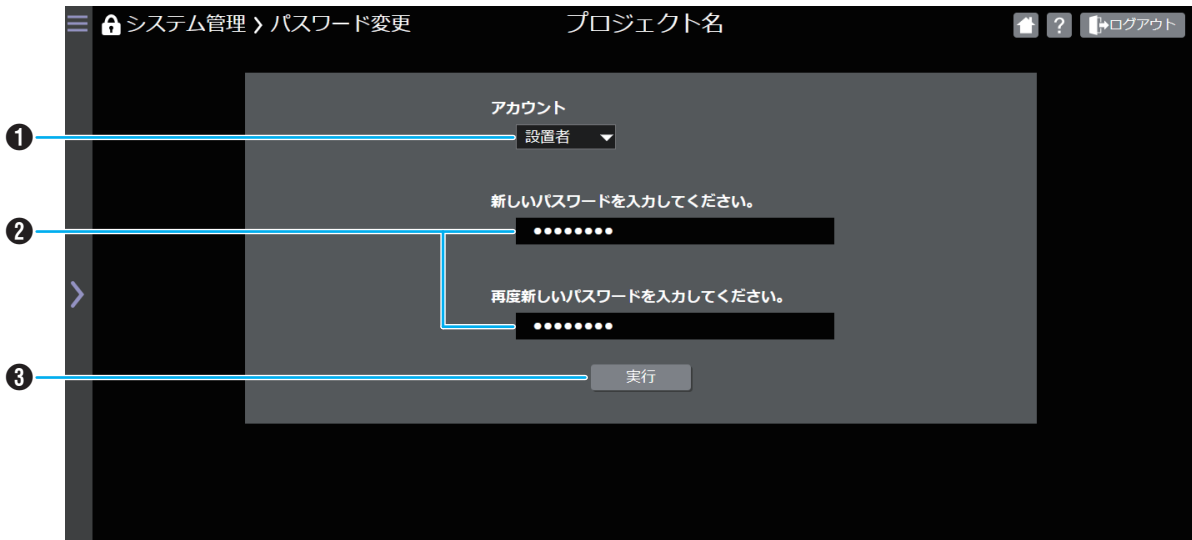
PING の応答結果を表示します。

メモ：

- 環境によっては、すべてのユニットの応答結果が表示されるまで時間がかかる場合があります。

パスワード変更

Web アプリにログインするパスワードを変更します。



① アカウント

パスワードを変更するアカウントを選択します。

メモ： _____

- 「運用者」でログインしている場合は、「運用者」のみ選択することができます。

② パスワード入力欄

新しいパスワードを入力します。

確認のために、もう一度パスワードを入力してください。

メモ： _____

- パスワードは半角英数字、8 文字以上 20 文字まで入力できます。

ご注意： _____

- システムマネージャーの Web アプリでパスワードを変更すると、システムに接続しているすべての子機にも反映されます。
パスワード変更後に子機の Web アプリに接続する場合は、変更した新しいパスワードを入力して、ログインしてください。

③ 実行ボタン

入力制限のチェックを行い、範囲内の場合は、新パスワードをシステムマネージャーに送信し、更新します。範囲外の場合は、警告画面を表示し、パスワードを更新しません。
[実行]ボタンをクリックすると、パスワードが一致している場合は、新しいパスワードに変更します。パスワードが一致していない場合は、警告画面を表示します。

**JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター**

固定電話  0120-2727-87

携帯電話  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

ホームページ <https://jkpi.jvckenwood.com/>